

**【エシカル消費】**

エシカルとは「倫理的」という意味で、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと。

**【カーボンニュートラル】**

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

**【カーボンニュートラルポート】**

海外・国内各地との物流や人流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素・燃料アンモニア等の次世代エネルギーの安定的かつ安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指したもの。

**【環境マネジメントシステム (EMS (Environmental Management System))】**

事業者が自主的に環境保全に関する取組を進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組む仕組みのこと。  
(例：ISO14001、エコアクション21、いしかわ版環境ISO)

**【固定価格買取制度 (FIT (Feed-in Tariff) 制度)】**

再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）で発電した電気を、電力社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度。

**【スマート林業】**

地理空間情報や ICT 等の先端技術を活用し、業務効率化や安全性向上等を目指す林業。

**【パリ協定】**

2015 年に、温室効果ガス排出削減のための新たな国際的枠組みとして採択された、京都議定書に代わる 2020 年からの温暖化対策の国際ルールの中で、世界共通の長期目標として、「世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて 2℃より十分低く保つとともに、1. 5℃に抑える努力を追求すること」を掲げている。

**【モーダルシフト】**

トラックなど自動車の利用を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。

**【COP】**

「Conference of the Parties (締約国会議)」の略称で、地球温暖化を防ぐ枠組みを議論する国際会議（国連気候変動枠組条約締約国会議）で、数字は開催回数を示す。

**【IPCC】**

Intergovernmental Panel on Climate Change (気候変動に関する政府間パネル) の略称で、各国の政府から推薦された科学者が参加し、地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価を行い、報告書にまとめている組織。

**【J-クレジット制度】**

適切な森林管理による CO<sub>2</sub> 等の吸収量等を、「クレジット」として国が認証する制度。実際の吸収活動等の成果をクレジットとして売買できるようにすることで、クレジット購入者もクレジット創出者の吸収活動等を資金面で支援することができ、社会全体で吸収活動等が一層推進される。

**【PPA (Power Purchase Agreement)】**

太陽光発電設備の導入手法の 1 つで、自宅の屋根等にサービス提供事業者が設置費用を負担して太陽光発電設備を設置し、発電した電気を買い取ることにより、初期投資ゼロで、太陽光発電設備を保有せずに再生可能エネルギー由来の電気を利用できる。

**【ZEB Ready】**

「Net Zero Energy Building Ready (ゼブ・レディ)」の略称で、再生可能エネルギーを除き、省エネ技術で基準一次エネルギー消費量（断熱使用、設備毎等により定められる標準的な一次エネルギー消費量で、省エネルギー基準は 2016 年）を 50% 以上の削減を実現している建築物。

\* ZEB とは「Net Zero Energy Building」の略称で、自然エネルギーの活用や効率的な設備システムの導入等の省エネ技術と、太陽光発電等の創エネ技術を組み合わせ、空調、照明等で必要な年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した建築物。